

2024年4月11日発表

報道・プレスご担当者様 各位

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会では、第15回学術大会内（6月7日～9日、浜松市／ボアクトシティ浜松；井上真智子大会長）において、特別企画「プライマリ・ケアにおける気候非常事態宣言（通称：浜松宣言）～地球まるごと健康を目指す これからのプライマリ・ケア～」（6月9日（日）13時30分～14時10分）を開催いたします。

シンポジウム開催に先立ち、登壇者による発表会を以下の通り実施いたします。

【報道・プレスご担当者様向け発表会】

日時：2024年6月9日（日）11時45分～12時30分

会場：アクトシティ浜松 第3会場（21会議室）

進行：大杉泰弘（藤田医科大学 連携地域医療学

日本プライマリ・ケア連合学会 理事 広報委員会委員長）

申込：第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会ウェブサイト

「[プレスの方へのご案内](#)」を参照いただき、お申込みください。

本件に関するお問い合わせ：

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会 本部

Email：[office@primary-care.or.jp](mailto:office@primary-care.or.jp)

**一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会について <https://www.primarycare-japan.com/>**

2010年4月1日設立 理事長 草場 鉄周（北海道家庭医療学センター 理事長）

プライマリ・ケアは地域の医療を担う重要な役割を持っており、これからも、持続可能な質の高い医療体制を構築し続けることが大切です。

日本プライマリ・ケア連合学会（JPCA）は、総合診療を目指す医師、研修医、医学生をはじめ、プライマリ・ケアに興味を持つ医療従事者（看護師、薬剤師、保健師など）および介護従事者、一般の方すべての皆さんが参加できる学会です。

全国規模の学術集会やセミナー、研修会、参加型のワークショップなど学べる場を数多く提供しており、プライマリ・ケアに関する、最新情報や実践的な技術が学べるよう積極的に活動を行なっています。

【発表概要】

**「プライマリ・ケアにおける気候非常事態宣言（通称：浜松宣言）～地球まるごと健康を目指す これからのプライマリ・ケア～」**

【概略版】[プライマリ・ケアにおける気候非常事態宣言（通称：浜松宣言）](#)

演 者：草場 鉄周（北海道家庭医療学センター 理事長, 日本プライマリ・ケア連合学会 理事長）

井上 真智子（浜松医科大学 地域家庭医療学講座 特任教授）

豊田 喜弘（福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座）

座 長：寺本 敬一（ふくちやま協立診療所）

2023年は観測史上最高に暑い年となりました。日本でも熱中症患者が増加し、豪雨災害が頻発しています。気候変動は『21世紀最大の健康への脅威』といわれています。近年、世界医師会やWONCA(世界家庭医機構)、その他多くの国際医学会が気候変動対策の重要性を発表しています。当学会もこのような状況を深く受け止め、学会を挙げて気候変動対策に取り組むべく、本学術大会の場

で「プライマリ・ケアにおける気候非常事態宣言(通称:浜松宣言)」を表明することと致しました。プライマリ・ケアは、地域に密接に関わりながら人々の健康や日常生活を支える役割を担っています。気候変動対策においても、地域の住民や行政と連携しながら、より広い視野で取り組むことができます。気候危機はまさに“Think Globally, Act Locally”を実践する課題です。当学会が、日本の医療系学会の中で先駆けて、気候非常事態宣言を表明することは大変意義深いことです。

このプログラムでは、本学会理事長および大会長が宣言表明をするとともに、その意義と展望について概説します。さらに、この宣言を支持する外部支援者や宣言後のアクションを牽引する本学会プラネタリーヘルスワーキンググループのメンバーからのメッセージを紹介します。